

教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 録

令和5年10月24日 午後2時00分 開会

出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	山 田 清 志
委 員	菅 沼 由 貴 子
委 員	戸 莉 恵 理 子
委 員	佐 原 圭 子

説明のための出席者

教育部長	前 田 清 彦
教育部次長	酒 井 保 吏
教育部次長兼学校教育課長	鈴 木 康 孔
教育部次長兼中央図書館長	尾 崎 浩 司
庶務課課長	杉 浦 忠 彦
庶務課主幹	石 黒 友 作
学校教育課主幹	中 村 立 志
生涯学習課長	石 黒 泰 基
スポーツ課長	小 原 寛 明
学校給食課長	林 俊 光
中央図書館主幹	渡 邊 里 恵

教育長が指定した事務局職員

主 事	近 藤 邦 宏
主 事	森 下 徹

議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第24号議案 令和6年度教職員定期人事異動方針について（非公開）
- 第3 第25号議案 令和4年度教育委員会事務の点検・評価報告書について

「高本教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、会議を開催します。始めに、日程第1、「議事録署名委員の指名」を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、山田・戸莉 両委員を指名いたします。よろしくお願ひします。

「高本教育長」 続いて、日程第2、第24号議案「令和6年度教職員定期人事異動方針について」を議題といたしますが、本案は職員の人事に関する案件となりますので、議事を非公開とし、会議内容の議事を別に記録することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認め、第24号議案「令和6年度教職員定期人事異動方針について」は非公開とします。

(以下、議事を非公開)

「高本教育長」 続いて、日程第3、第25号議案「令和4年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「杉浦庶務課長」 第25号議案「令和4年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 この件について、ご質疑がありましたらお願いします。

「戸苅委員」 学校教育課に伺います。教職員のさらなる資質向上が必要で、その目標指数として「各種研修に参加した教職員数」を設定しています。この研修参加者数の目標値が、令和7年度で約1,700人としていますが、直近の参加者数は約500人と大きな乖離があるようです。本来は、1,700人程度を研修しないとイケないが、コロナ禍等の影響で500人しかできていないのか、若しくは今後研修回数等を充実させ、人数を増やしていくという考えなのか。働き方改革の兼ね合いもあると思いますので、どのような考えなのか教えてください。

「鈴木教育部次長」 この1,700人という数字は、コロナ前の実績となります。コロナ以降Z o o m等を活用したオンライン研修も増えてきましたが、ここに掲げた目標人数は以前のような参加者数に戻そうというものです。

「佐原委員」 学校における働き方改革に関連して伺います。時間外勤務を縮減しようという動きがありますが、一方で企業の場合、有給休暇を必ず年何日以上取得しなさいという指示があります。学校の先生は、有給休暇を取得できているのでしょうか。

「鈴木教育部次長」 学校では、10日を目標に有給休暇を取得しようとしています。ただし、普段の平日はなかなか取得しにくいので、実際には夏休みなどの長期休業中にまとめて取得するケースが多い状況です。

「山田委員」 部活動の外部講師の活用について伺います。点検評価委員からも、「地域との更なる連携の形を研究し、優れた指導力を有する人材の確保に努めていただきたい」とのコメントがあり、また、休日部活動の地域移行の話もありますが、優れた指導力を有する人材のうち、なかなか平日の16時に時間を作れる方を見つけるのは

難しいので、実際には、リタイアされた方で時間を作れる方をお願いするというケースが多いのではないかと思います。自分の予定を調整してまで、優秀な方に外部講師としての仕事を選んでもらうため、人材確保には、それ相応の費用が必要になってくるのだと思いますが、何か考えはありますか。

「前田教育部長」 休日部活動の地域移行について、スポーツ庁、文化庁の提言があり、3年間でどの程度まで調整できるかということで、全国の自治体で議論されているところです。豊川市でも、先日第1回の検討委員会を開催しましたが、課題が山積みで、山田委員が言われた指導者の謝礼についても大きな課題となっています。現在の外部指導者は、顧問の先生の補助として土日指導にご協力いただける方、これをスポーツ、文化あわせて年間30人、一人当たり10万円の謝礼でお願いしているところです。市によっては、もっと多くの金額を用意し、補助ではなく、大会への引率等も含めてお願いしている自治体もあるという状況です。1時間当たりの謝礼単価としては、豊川市の設定は決して他市と比べて低いという状況ではありませんが、指導していただく時間や内容を拡充させようとした場合、費用面ではかなり不足することが見込まれます。また、地域移行を考えた場合、民間インストラクターをお願いするという選択肢もありますが、現在、部活の場合はほぼ無償、地域クラブの場合はそれなりの金額を各家庭が負担しているという状況ですので、地域インストラクターに依頼した場合、保護者負担をある程度求めるのかという議論もあります。また、合同部活として地域連携で実施するという選択肢もあるかもしれません。そのような様々な選択肢がある中で、費用負担も含めてどのように構築していくのか、その検討がようやく動き出したという状態です。今後、生徒や保護者、教員に対するアンケート等を実施し、これからの休日部活動をどのように実施することが望ましいか、教員の負担軽減も含めて考えていくという状況です。

「山田委員」 豊橋市では、「のびるん d e スクール」として小学生向けに外部インストラクターを派遣するなど、放課後の機会をつくっています。その中学生版のようなものをつくっていかなければならないのかと思う一方で、中学生に対してどこまで用意すべきなのかとも思います。中学生という年齢層に、親や学校がどこまで世話をすべきなのかという思いです。生涯学習として、ダンスをはじめとした教室もあり、若干お金はかかるものの、環境としては既に用意されているものもあります。土日の部活動を廃止する、そうすれば中学生は、自分たちで土日の過ごし方を考えるのかもしれない。ただし、何らかの受け皿を行政が用意してあげるべきだと思います。

「管沼委員」 サッカーやバレーボール、陸上など多くの競技で、地域のクラブがあります。ただし、送迎が必要であったり、親の都合で行けない子どもたちもいるの

で、そういった子どもたちの受け皿は必要だと思います。

「高本教育長」 ほかにご質問、ご意見がなければ採決を行います。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認めます。第25号議案「令和4年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」は原案のとおり可決いたしました。

「高本教育長」 本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会
は閉会といたします。

(午後2時45分 閉会)

この議事録は真正であることを認め、ここに署名する。

教 育 委 員

教 育 委 員